

◆教員養成の目標及び当該目標を達成するための計画

□教員養成課程に対する理念

仏教、特に禅の教えに基づく人格の形成と社会への奉仕を建学の精神を基本理念とする本学では、文学部の各学科における高度な専門教育を基盤とした教科に関する専門知識とこれらを教育の現場で生かす実践的教育技術を身に付けるとともに、真の教育者としての使命感と教育現場で直面する様々な諸問題に対処するうえで求められる幅広い教養とコミュニケーション能力を有する教員の育成を目指している。

今後の教育においては、我が国として対応していかなければならないグローバル化、情報化、少子超高齢化などの社会の構造変化の中で、心豊かにたくましく幸福に生きていくための自立した個を育成することが求められている。

そのためには、社会構造の変化によってもたらされた知識基盤社会において、自らが課題を発見し解決していくための思考力・判断力・表現力等の育成ということを生徒たちに学力として身に付けていかななくてはならない。

さらに学校現場では、いじめによる自殺、体罰、個別支援を必要とする児童生徒の増加などの、さまざまな問題への適切な対応が求められている。真摯な思いをもって適切な対応をしていくことにより、保護者や地域からの学校や教師への信頼を得ていくようにしなければならない状況にある。

また、2011年の東日本大震災から、今後の大規模な災害に対する人々の意識も大きく変わってきており、共生を主体とした社会づくり、地域の在り方の見直しということも行われるようになってきた。そうした社会において教員は、単なる学校教育の担い手だけでなくものへと変わりつつある。

以上のような現在の状況、ならびに今後の教育を踏まえて、次のような教師の育成を図ることを考えている。

- 真の教育者として使命感をもって様々な教育問題に対応することができるために、常に自己研鑽に努め、探求心をもって自主的に学び続けている教師。
- 変化の激しい社会の中であって、専門職としての知識や、新たな課題に対応できる実践力を身に付けている教師。
- 教職への誇りと強い情熱をもち、社会や地域の中で協働して様々な問題に対応できるような豊かな人間性や社会性、コミュニケーション力を身に付けている教師。